



令和3年度日事連建築賞

日事連建築賞選考委員会

- 委員長 富永 讓**
法政大学名誉教授
(有) 富永讓・フォルムシステム設計研究所代表
- 委員 網野禎昭**
法政大学デザイン工学部教授
- 委員 作山 康**
芝浦工業大学システム理工学部教授
- 委員 塩見英之**
国土交通省大臣官房審議官
- 委員 陶器二三雄**
(株) 陶器二三雄建築研究所代表
- 委員 中谷正人**
建築ジャーナリスト
- 委員 丸川眞太郎**
日事連副会長、(株) 丸川建築設計事務所代表

本連合会では、優れた建築作品を設計した建築士事務所を表彰することにより、建築士事務所の資質の向上に資することを目的に、毎年「日事連建築賞」を実施しています。

本年度は、一般建築部門 79 点、小規模建築部門 96 点の合計 175 点の応募があり、単体会での第1次審査を経て、28 単体会から日事連にリノベーション等を含めた一般建築部門 28 点、小規模建築部門 28 点、合計 56 点の建築作品の応募がありました。

日事連での第2次審査では、まず6月1日の選考委員会にて、受賞候補作品を選定し、その後一般建築部門から4作品、小規模建築部門から5作品の現地審査が行われました。

8月6日の最終選考委員会において討議・検討の結果、国土交通大臣賞と日事連会長賞を選定し、さらなる討議・検討の結果、一般建築部門および小規模建築部門からそれぞれ3作品を優秀賞とし、優秀賞に準ずるものとして、一般建築部門から4作品、小規模建築部門から4作品を奨励賞に選定しましたので、以下にご紹介します。

- 一般建築部門：延面積が1,000㎡を超え10,000㎡以下の建築物
- 小規模建築部門：延面積が1,000㎡以下の建築物（戸建住宅を含む）

国土交通大臣賞 小規模建築部門（1点）

小林古径記念美術館 (株) 宮本忠長建築設計事務所 | 長野会

日事連会長賞 一般建築部門（1点）

垂井町役場 (株) 梓設計一級建築士事務所 | 東京会

優秀賞 一般建築部門（3点）

- 那須塩原市図書館 みるる 一級建築士事務所 UAO (株) | 東京会
 THE HIRAMATSU 京都 (株) 日建設計一級建築士事務所 / (株) 大林組 / 中村外二工務店 | 大阪会
 早稲田大学本庄高等学院 体育館 (株) 日建設計一級建築士事務所 | 東京会

優秀賞 小規模建築部門（3点）

- 小さな石場建ての家 環境デザインワークス | 徳島会
 はつせ三田 (株) ihrmk 一級建築士事務所 | 東京会
 mother's+ (株) 竹中工務店北海道一級建築士事務所 | 北海道会

奨励賞 一般建築部門（4点）

- 広野こども園 関・空間設計・生物建築舎設計共同企業体 | 宮城会
 山元町役場 (株) シーラカンスアンドアソシエイツ一級建築士事務所 / (有) SOY source 建築設計事務所 | 東京会
 瑞浪北中学校 (株) 日建設計一級建築士事務所 | 愛知会
 国立工芸館 (株) 山岸建築設計事務所 / (株) 浦設備研究所 | 石川会

奨励賞 小規模建築部門（4点）

- 熊本城特別見学通路 一級建築士事務所 (株) 日本設計九州支社 | 福岡会
 ミナガワビレッジ (株) 再生建築研究所一級建築士事務所 | 東京会
 六供町集会所計画 (協組) 群馬県建築設計センター
 (株) ライブ環境建築設計 / (有) 萩原構造計画事務所 / (株) 齋藤設備技研 | 群馬会
 オモケンパーク 矢橋徹建築設計事務所 | 熊本会

国土交通大臣賞、会長賞、優秀賞の受賞作品については、本誌11月号から始まる連載『令和3年度日事連建築賞受賞作品紹介』にて、図面とともに詳細記事を掲載する予定です。



古径邸よりも高さを抑えた切妻屋根の外観

❖ 小林古径記念美術館

▶ (株) 宮本忠長建築設計事務所 | 長野会

近代日本画壇を代表する小林古径の住宅に寄り添うように整備された美術館。吉田五十八に「私が好きだという家をつくってください」と古径が伝えたという禅問答のようなエピソードが残る名住宅は、約20年前に東京都大森からこの地に移築復原された。同時期を生きた2人の作家に共通するのは、伝統的なものを基軸として、簡略化しながら、より本来の美しさを引き出す新しい表現手法に取り組んだこと。日本の伝統文化の近代化という2人に通底する

考え方のもと、復原事業から美術館整備まで行われた。

復原事業では、高田城址公園の場所性を活かし、公園全体の連続性を考慮して外堀の西堀橋からの軸線をつなぐ「長廊」を計画した。その背景には、雪国にみられる「雁木」の地域性を意識し、いずれ美術館が連続して整備されることを願ったの故・宮本忠長の設計意図があった。今回の計画ではこの長廊を延長して計画し、来訪者だけでなく、公園利用者も気軽に通り抜ける場とすることで人々のつながりが生まれ、地域の文化や歴史を身近に意識しつつ、新たな古径的な景観を創ることを目指した。

美術館は寡黙な古径の人柄を表すように控え



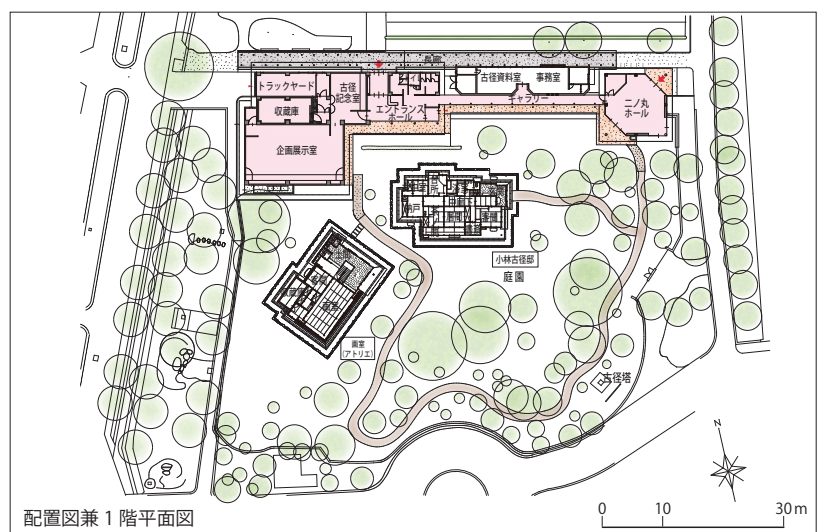
多様な展示が構成できる企画展示室



二ノ丸ホール

めで端正な佇まいとした。建物高さは古径邸より低くし、屋根勾配は4寸に揃え、一部を大和葺にし、古径邸の瓦屋根との調和を図りつつ落雪を考慮した切妻としている。庭園の散策路を展示動線として組み入れ、古径邸との視覚的関係性を持ったギャラリーを並列。作品鑑賞、作品制作、日常生活の場という「古径の世界」を一貫して鑑賞できる美術館としての価値を最大限に活かした全体構成とした。

- 建設地 新潟県上越市
- 用途 美術館
- 構造 RC造、一部S造、一部木造
- 階数 地上2階
- 敷地面積 5,136.99㎡
- 建築面積 951.09㎡
- 延面積 702.93㎡





商業施設をコンバージョンした新庁舎

❖ 垂井町役場

▶ (株) 梓設計一級建築士事務所 | 東京会

天下の名水と親しまれた名泉を持つ「水のまち」岐阜県垂井町の庁舎再生計画。旧庁舎の老朽化が進む中、閉店した商業施設を活用したコンバージョンにより新庁舎を整備した。

既存建物に3つの要素を付加することで庁舎への再生を試みた。1つ目は、外周に「アウトフレーム」を増設し、耐震性能を基準法の1.5倍に向上させることで防災拠点としての安全性を確保した。2つ目は、「ホール棟」を増築し、1階にはにぎわい機能を、2階はエネルギーセンター機能を持たせた。3つ目は、トップライト付き吹抜け空間「環境井戸」を貫入することで、閉鎖的な内部環境の改善を図った。優しい光と風をもたらし、地場産木材を用いた温かみのある空間の下に交流や憩いのスペースを配置した。

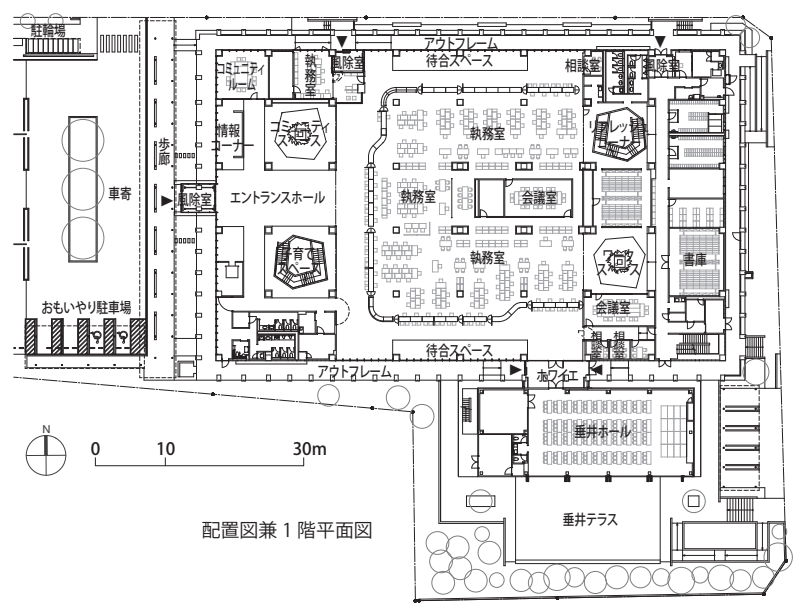
「環境井戸」がまちの名泉のような潤いをもたらし、交流やにぎわいを生むことを意図した。

アウトフレームは耐震要素だけではなく、屋根下歩廊として、また日射抑制の環境装置として機能する。リズムカルに連続するフレームは既存建物の外観を刷新し、庁舎としての風格ある表情を生み出した。隣接する文化会館にも列柱・回廊があるため、新庁舎のアウトフレームと調和し、一体的な景観を創出している。ホール棟の外観は、既製アルミ形材をランダムに配置し、「水のゆらぎ」を表現することで、南側の国道に対して、「水のまち・垂井」を発信している。

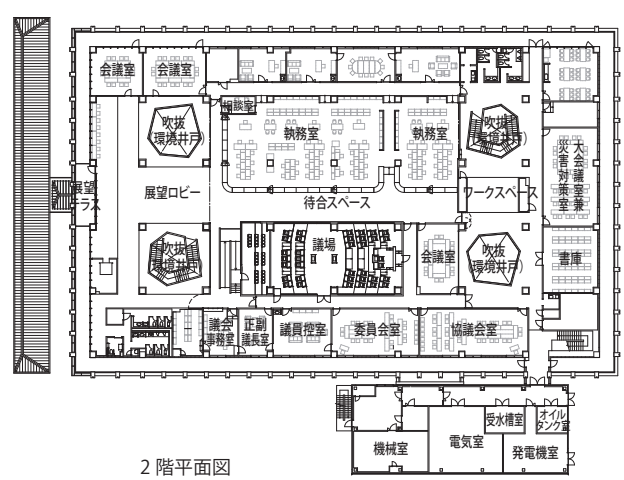
防災設備は大地震や浸水のリスクを考慮し、増築したホール棟の2階に配置した。1階は「垂井ホール」と「垂井テラス」を設け、日常的なイベント利用のほか、災害時は物資・情報拠点に転用可能な計画としている。内外装は、仕上げ材を極力メンテナンスフリーな設えとすることで、清掃や更新手間を減らし、専門業者では



光と風をもたらす環境井戸



配置図兼1階平面図



2階平面図

ない職員の手によるメンテナンスを可能にしている。

ユニバーサルデザインについては、人による温かみのある案内を重視した。柱スパンが大きな既存建物の特性を活かし、正面中央に執務スペースを集約配置することで、来庁者を迎え入れるレイアウトとした。柱に設置したアイコンックなピクトサインにより、親しみが持ててわかりやすい「やさしいデザイン」を心掛けた。

将来的に行政機能を移転する東側建物との連携や、文化会館とのつながりに配慮した計画とすることで、エリア一体がにぎわい拠点になることを目指している。

- 建設地 岐阜県垂井町
- 用途 事務所
- 構造 RC造、一部S造
- 階数 地上2階
- 敷地面積 9,476.80㎡
- 建築面積 4,438.80㎡
- 延面積 7,434.66㎡



多目的用途を1階に集め、日常動線を通す

❖ 那須塩原市図書館 ゐるる ▶ 一級建築士事務所 UAO (株) | 東京会

黒磯駅周辺の地域活性化を目的とした、図書館等からなる複合交流施設。統一感のある空間創出のため、隣接する駅前広場、シェルター、駐車場まで一体的に設計した。

森をコンセプトとし、樹冠の下端を模したリーフラインの高低差によって多様な居場所を生み出し、放射状の本棚で木立の風景を作り出した。ガラスで内部の活動が周辺に伝わるようにし、駅前広場側には一体利用できる多目的ホールを配し、道路に対して縁側空間を設けて、立ち話の生まれる風景を創出した。



多面体のルーバー天井で空間を覆う

建設地 栃木県那須塩原市
 用途 図書館その他これに類するもの、事務所
 構造 S造
 階数 地上2階
 敷地面積 4,011.49㎡
 建築面積 3,078.21㎡
 延面積 4,967.69㎡



明治32年築の京町家を保存したホテル

◆ THE HIRAMATSU 京都 ▶ (株) 日建設計一級建築士事務所 / (株) 大林組 / 中村外二工務店 | 大阪会

京都の歴史と文化が息づく祇園祭の山鉦町に建つ京町家を施設の一部として保存活用したホテルの計画。面する室町通は、町家所有者の経済的負担の大きさから建て替えが増えており、この京町家も一度解体を検討されたが、景観保全や文化継承の観点から計画が見直された。建物は、保存や修景、主要部の軸組み保存、形態復元の手法を駆使し、現代のホテルとして快適に利用できるよう機能再生した。町家の平面構成を踏襲し、光と風、緑の演出要素を組み合わせ、新旧が融合した空間性と生活様式を再構築した。

建設地 京都市中京区
用途 ホテル
構造 RC造、一部木造
階数 地上5階
敷地面積 1,185.29㎡
建築面積 945.05㎡
延面積 3,938.92㎡



フロントと裏庭、蔵をつなぐ走り庭



装飾性を極力排した RC 打ち放し仕上げの外観

❖ 早稲田大学本庄高等学院 体育館 ▶ (株) 日建設計一級建築士事務所 | 東京会

アリーナの外周に7つの回廊を設け、空調や照明・音響設備、ランニングコースとして使われるのと同時に、回廊越しにアリーナが外部と接することで、暗幕がなく、淡い間接自然光で満たされる多孔質な体育館とした。内部・外部ともに装飾性を極力排した RC 打ち放しの仕上げとし、建物の構成を明確にした。伽藍のような配置と空間構成は、物質の本質を学び取る場を意識して作り出した。「現代建築でありながら、いつの時代にも属することができるような建築のあり方」を考え、空間へと表現した。



間接自然光で満たされる多孔質な空間

建設地	埼玉県本庄市
用途	高等学校
構造	RC造、一部S造
階数	地上3階
敷地面積	63,077.60㎡
建築面積	4,014.06㎡
延面積	4,465.86㎡



優秀賞 | 小規模建築部門



地上から1.5mほど上げ高床にした外観

❖ 小さな石場建ての家 ▶ 環境デザインワークス | 徳島会

県土の76%を山林が占める徳島県では、スギの長伐期林業によって治山治水を行ってきた。山の有り様に木材の使い方を合わせるデザインを取り込むことで、山の循環の一部としての土着木造建築を目指した。「未来の古民家」となるよう古^{ふる}美^びる自然素材で構成した。構造は、継手・仕口が全部寄り集まって「総持ち」になっており、木組のめりこみや足元をフリーにした石場建てで柳の木のような柔構造になっている。大工の手刻みによる木の加工が内部空間に秩序と安心感を与える。

建設地	徳島市
用途	一戸建ての住宅
構造	木造
階数	地上1階
敷地面積	226.25㎡
建築面積	80.66㎡
延面積	76.68㎡



大工の手仕事を感じられる内部空間



周辺環境となじむスケールとして 1,350mm 間隔で配した 310mm 角の柱梁によるフレームを設定

建設地	東京都港区
用途	共同住宅
構造	RC造
階数	地上7階、地下1階
敷地面積	213.05㎡
建築面積	143.07㎡
延面積	852.27㎡

❖ はつせ三田

▶ (株) ihrmk 一級建築士事務所 | 東京会

1,350mm で配した 310mm 角の柱梁フレームのシンプルな構成に、プランがすべて異なる 13 戸の住居が絡み合っ点在する。中央に「めぐり土間」、その周囲にオープンテラス、インナーテラスといった小さな共用空間がつながる。内外が混交しながら連続する空間構成により、網を重ねた中に空気を含んだ、外（斜線制限・高度地区・日影規制）／内（戸数・仕様）／バッファー（オープンテラス・インナーテラス・めぐり土間）が重層的に絡み合う建築を考えた。

変化に応じて建物内を移り住んでいける時間的柔軟さと、閉じるでも開くでもない専用部／共有部間の関係性によって生まれる身体に対する適度な距離感によって、オーナー一家各々の個室とファミリー、一人暮らし、SOHO 等のさまざまな借主が集まって住む「大きな家」となっている。

中央の「めぐり土間」





養鶏業のパイロットファーム「ヨコストラチ」の中核施設として計画された

❖ mother's+ ▶ (株)竹中工務店北海道一級建築士事務所 | 北海道会

観光業が盛んになりつつある白老町でSDGsに基づき、6次産業化・グリーンツーリズムの拠点として計画された養鶏場のパイロットファーム「ヨコストラチ」の中核施設。

地域固有の素材や形、手法などを尊重するデザイン「Local Fabrication」を展開し、木材はすべて道産のカラマツとトドマツとした。形状は鶏舎をモチーフとし、方杖やタイバーを用いないシンプルな木フレームとするため、仕口に鋼棒を挿入するGTR工法を採用した。アプローチの床仕上げには、放牧される鶏の足跡を刻印している。

建設地	北海道白老町
用途	農産加工品直売所
構造	木造、一部S造
階数	地上2階
敷地面積	16,351.99㎡
建築面積	891.02㎡
延面積	887.71㎡



GTR工法により13mスパンの無柱空間としたゆとりのある店舗

❖ 広野こども園 ▶ 関・空間設計・生物建築舎設計共同企業体 | 宮城会



震災復興で風景が一変した広野町の丘に建つ教育施設。軒先を低くすることで海と山が感じられるようにし、子どもたちや地域の人々が感受できる原風景を作り出すことを意識した。勾配屋根は丘の斜面と連続し、屋根上には山が見え、遠景の緑と近景の金属屋根で一つの立面を構成している。緩やかに上下する軒先は、最も低い点で1,700mmを下回り、大人の目線では軒ラインが周囲環境に意識を導く補助線となっている。100mm角の鉄骨柱が室内に開放感をもたらし、多様な空間を大屋根が包みこむ。

建設地	福島県広野町
用途	幼保連携型認定こども園
構造	S造、一部RC造
階数	1階
敷地面積	4,345.67㎡
建築面積	1,559.74㎡
延面積	1,303.49㎡

❖ 山元町役場 ▶ (株)シーラカンスアンドアソシエイツ一級建築士事務所 / (有) SOY source 建築設計事務所 | 東京会



震災で甚大な被害を受けた山元町の復興庁舎。丸くコンパクトな形状は、一般的な長方形庁舎と比較し、周囲の住宅街に影を落とさず、寒冷地の雪解け問題への対策にも有効である。CFD解析を用いて風を受け流す外形形状を定め、さらに光環境シミュレーションの活用によりハイサイドライト・吹抜けの大きさを決定した。ガラスの多い建築だが、2階にバルコニーを回して足場不要にし、仕上げ材にも耐久性の高いメンテナンスフリー製品を採用して、管理負担の少ない持続可能な建築とした。

建設地	宮城県山元町
用途	地方公共団体の支庁
構造	S造
階数	地上2階
敷地面積	11,221.06㎡
建築面積	2,711.90㎡
延面積	4,226.08㎡



❖ 瑞浪北中学校 ▶ (株) 日建設計一級建築士事務所 | 愛知会

文部科学省のスーパーエコスクール実証事業に認証され、さまざまな環境配慮技術を導入した中学校。生徒たちが多様なエコツールについて学習し、試行錯誤しながら運用することが、これからの地球環境を担う子どもたちに最もふさわしい環境学習になると考え、校舎内には、生徒が環境について五感で体感できる仕掛けを随所に設けている。校舎の整備と、生徒を中心とした運用によって、竣工後1年間のエネルギー実測の結果、Net Zero Energy となり、学校として初のZEBを達成した。

建設地	岐阜県瑞浪市
用途	中学校
構造	RC造、一部S造、一部木造
階数	地上3階
敷地面積	16,132.26㎡
建築面積	4,572.34㎡
延面積	8,090.07㎡



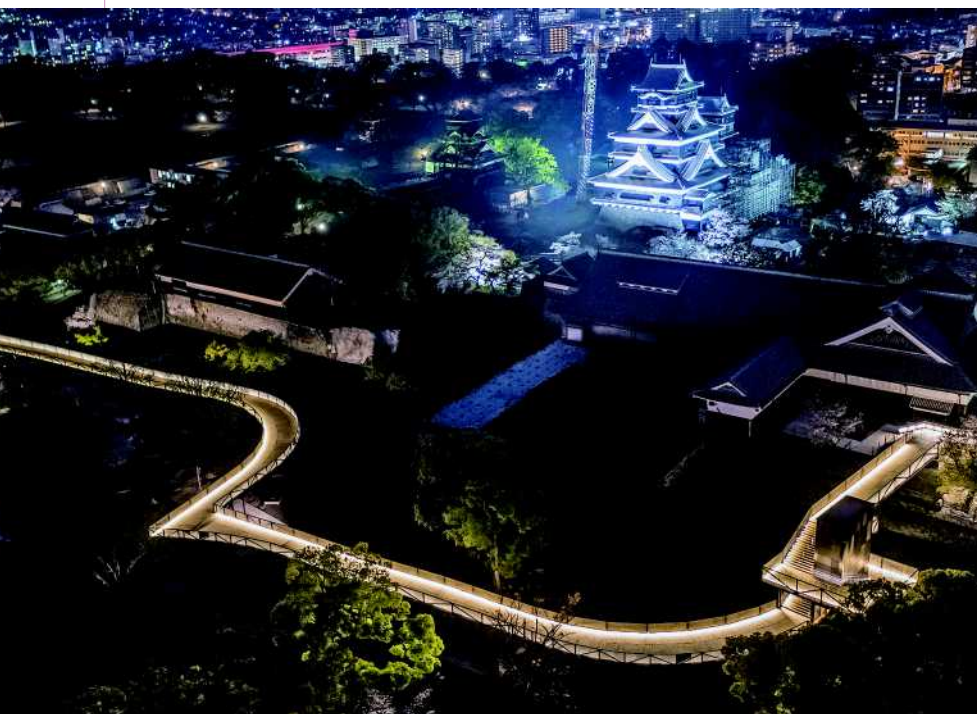
❖ 国立工芸館 ▶ (株) 山岸建築設計事務所 / (株) 浦設備研究所 | 石川会

地方創生施策の一環で金沢に移転した国内唯一の工芸専門の国立美術館。県立美術館と県立歴史博物館が並ぶ本多の森公園に立地し、登録有形文化財である旧陸軍の第九師団司令部庁舎と金沢偕行社を移築活用した。外観は色等を建築当時の姿に復元し、内観も明治期の洋風建築の意匠を保存・復元した。撤去されていた両翼部分や講堂部分をRC造で復元し、耐火性能を確保。復元の観点から、移築木造部分と復元RC造部分にエキスパンションジョイントを設けず、その境界を感じさせない構造一体の建築物として計画した。

建設地	石川県金沢市
用途	美術館
構造	RC造+木造、一部S造
階数	地上2階、地下1階
敷地面積	10,554.46㎡
建築面積	1,427.23㎡
延面積	3,072.22㎡



❖ 熊本城特別見学通路 ▶ 一級建築士事務所 (株) 日本設計 九州支社 | 福岡会



熊本地震で被災した熊本城の20年にわたる復旧を見届けるための仮設の空中歩廊。城を背景に木々の間をすり抜ける見学通路は、全長350m、高低差21mの建築で、敷地の制約上、崩落した石垣を飛び越えたり、地中遺構や既存樹に配慮して弧を描いたり、復旧工事が続く災害現場や特別史跡に配慮した形状となっている。歴史ある環境に馴染むように透過性の高い構造デザインとし、床や天井には県産のヒノキを使用した。「歴史、災害、復旧工事、自然」の4つが共存したことで、実現したプロジェクトである。

建設地	熊本市中央区本丸地内
用途	その他(熊本城)
構造	S造、一部SRC造
階数	地上1階
敷地面積	423,477.31㎡
建築面積	927.42㎡
延面積	219.70㎡

❖ ミナガワビレッジ ▶ (株) 再生建築研究所一級建築士事務所 | 東京会



1957年に新築され、検査済証未取得のまま4回以上増改築を繰り返していた表参道の木造建築群「ミナガワビレッジ」。違法建築のため保存できないと言われていた中で、富士塚(築山)と建築群を残し、新たなコミュニティを生み出す建築とその仕組みを東急電鉄に提案し、採択されたプロジェクトである。設計者が分室のオフィスとして利用しながら、調査実測、環境計測、設計を行い、1敷地4建物から庇の拡張や減築等によって1敷地1建物として既存不適格証明を行い、違法部分をすべて是正した。

建設地	東京都渋谷区
用途	長屋(4戸)・喫茶店・物品販売業を営む店舗
構造	木造
階数	2階
敷地面積	454.06㎡
建築面積	238.32㎡
延面積	421.79㎡



❖ ろっくまち 六供町集会所計画 ▶ (協組) 群馬県建築設計センター

(株) ライブ環境建築設計 / (有) 萩原構造計画事務所 / (株) 齋藤設備技研 | 群馬会

道路を挟んで公園と隣り合う集会所の計画。街のシンボル、地域の集まりの場になるべく、公園に面して西側に開放的な集会室を設け、その東側に玄関、和室、キッチン、会議室、トイレを配置した南面に大きな庇のあるソトマを設けている。建物は、木材柱4mの高層ボックスと3mの低層ボックスから構成され、集会所となる高層ボックスは木造の大空間にこだわった。建物西側に間口11.83mの集会所を計画し、スチールと木材で構成される張弦梁を採用して無柱空間にすることで広々とした空間を実現した。

建設地	群馬県前橋市
用途	集会所(事務所)
構造	木造
階数	地上1階
敷地面積	1,248.35㎡
建築面積	363.37㎡
延面積	307.55㎡



❖ オモケンパーク ▶ 矢橋徹建築設計事務所 | 熊本会

熊本地震で被災し解体されたアーケード沿いのビル跡地に、施主を中心としたプロジェクトチームと地域の人々の協働によって生み出された、地域活動や文化活動を創造するための場所。都市のスポンジ化など震災前から抱えていた問題に対する新しい仕組みを相互扶助意識から見いだそうとする試みである。空地に立体的な屋外空間と小さなゲートハウスを計画した。周りとの連携や、余白を人との交流や街との協働空間として開放することで、ちょうどよい具合のコミュニティネットワークを紡ごうとしている。

建設地	熊本市中央区
用途	飲食店
構造	S造
階数	地上1階
敷地面積	193.60㎡
建築面積	67.66㎡
延面積	48.37㎡

